

気候変動適応法改正に伴う地方公共団体による熱中症対策と 対処のポイント

-熱中症重篤化を防ぐためのクーリングシェルの質向上を考 える-

【講演1】

『社会を支える“身近な医療従事者”～藤沢市『ひと涼み処』事業から見える薬局の役
割～』

一般社団法人藤沢市薬剤師会 常務理事 門垣雪江 先生

【講演2】

『重症熱中症の診断と治療』

日本医科大学大学院医学研究科 救急医学分野 教授

日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 部長 横堀将司 先生

平素からクラブの活動に対してご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。
6月に入りまして、一気に気温、湿度も上昇し熱中症の危険度も上がりました。
先日、大塚製薬さん主催の熱中症に関するセミナーを受講しましたので内容を抜粋し
共有致します。

明石ジュニアラグビークラブ
松田 和丈

【講演1】

- ・薬局は「身近な医療資源」で、中学校区に1か所以上設置。
- ・2024年 改正気候変動的用法に基づく制度として、官民連携となりクーリングシェルター(クールスポット)を設置。
- ⇒ **明石市内にも「ひと涼みスポット」があり、市民が一時的に暑さをしのぎ涼しく過ごす場所として、6/1～10/15までの間、開設されている(薬局、市民センター等)。**
- 是非、明石市HPからアクセスしてご確認ください。

【講演2】

- ・体温調節とは「外部との熱交換の原理」のことで、①伝導 ②放射 ③蒸発 ④対流による。
- ・解熱鎮痛剤...あくまでも「感染症による発熱」の際に使用するもので、熱中症には効力なし。むしろ、肝機能低下や腎機能低下等の有害もあり得る。
- ・熱中症とは**「環境等の影響によって、体の中に溜まった熱が体外に排出できなくなった状態。つまり体の中に熱がこもってしまう状態」**
- ・日本国内の気温...ここ10年間で1.4℃上昇している。※ちなみに、4℃上昇すると、北極の氷が解けて東京が沈没すると言われている。
- ・熱中症による死者...30年間で約4倍(平成6年 580名 ⇒ 令和6年 2033名)。
- ⇒ **特に近年、梅雨明け直後の7月の熱中症による死者が増加。**
- ・熱中症のリスクを知る...WBGT指数。
- ・2024年 改正気候変動的用法により「熱中症特別警戒アラート」制定(都道府県全ての観測点でWBGT35以上と予測した場合)

⇒ 過去、1度も発動なし。

・労作性熱中症 ⇒ 男>女、予後良好。

・熱中症は高齢者が多い。「気温に対して感度が低い」等 ⇒ 周囲が「暑い」ことを気付かせるよう声掛けが必要。

・熱中症月別ピーク ⇒ 以前の山型(一気に7月増加、その後減少)から台形(7月以降もしばらく多い状態)となり長期化している。

・2024年に熱中症ガイドライン変更(分類の変更)... I、II、III、IV度。

⇒ 死者数 IV度=III度×4倍。体温(脇の下)40℃以上、重度意識障害あり。

・日本救急学会HPから「スマホ用 熱中症診断支援アプリ(JoinTriage)」をダウンロードいただくと、誰でも簡単に診断してくれるツール。

・熱中症の症状の4割...頭痛。

・WBGT 25に達したら注意が必要。

・処置...若年層の労作性熱中症には「冷水浸水(水風呂等)」が有用。意識状態悪い場合、水没等に要注意。

・冷却方法...10℃程度の水に手のひら・前腕(肘から先)を漬ける。うちわ、扇風機、局所冷却(脇や首)も有効。

・スポーツドリンクは糖分が多いので、①体に浸透するまで時間がかかる②尿量増加するので飲みすぎに注意。

⇒ 体液に近い成分である経口補水液が有用。

⇒ [予防]スポーツドリンク [治療]経口補水液。

以上